

解答

□一

問一 ア てきおう イ どうくつ ウ うもつ エ ゆうどう オ にんち

問二 獲物のたてる音を正確に聞き分けて方向と距離を知り、音のする方角に向き合うこと。（三十九字）

問三 ですから人間とほとんど

問四 顔の羽のひだえり

問五 獲物の出す音が八五〇ヘルツ以上の高い周波数であること。

獲物の出す音が、フクロウから七メートル以内にあること。

音の大きさ く まわすこと

問六

問七

問八 イ

問九 イ・カ（順不同）

□二

問一 ア 刺激 イ 食欲 ウ 疲 エ 珍 オ 祭

問二 A エ B イ C ウ D ア

問三 とりわけ

問四 食べたところで

問五 ウ

問六 きさまは、どうして、

問七 おれは級長 く という考え

問八 しあわせ（だ）

問九 が、どうが

解説

□一

問六 「フィードバック」とは、「原因と結果の関係において、結果を原因に反映させて、原因側を調整すること。」という意味です。ここでは「両耳から音の発生源へ向かう」ことが結果になります。フクロウは、この後、距離や方角を確定するために両耳の機能を働かせるのです。――線④の次段落「したがって、」に続く文章で具体的に示されている内容をとらえましょう。

問九 まず、本文の内容に合っている選択肢をあるだけ選ぶことに注意します。内容については、消去法で考えるとよいでしょう。

ア 第三段落より、フクロウは、あらゆる種類のわざを組み合わせることによって、音の発生源への距離と方角を人間よりも正確につきとめることが読みとれます。

ウ 第七段落の最後に着目します。ペインは「メンフクロウが何か固いものと衝突しなくなかったからだろう」と考えています。

エ 第五段落より、フクロウ類は、耳孔の前にある皮膚でできた弁を調節することによって音を正確に聞き分けています。

オ フクロウの「左右の耳孔の位置や耳腔の形が異なっている」ことと「神経細胞の数」は関係がありません。